

歴史探索PPT「出雲編」

皆の広場 素人の歴探考③

[A]出雲

[1]出雲古代史

[2]出雲探索記録

[B]伊勢

H26. 6. 4(水) シ18 永野 徹



[B] 出雲の旅

[1] 出雲の古代

[2] 出雲めぐり

*
*



[1] 出雲の古代

* (1) 出雲古代史

* (2) 出雲神話

(2-7-2) 出雲大社



(出雲大社)
・平成26年
・出雲大社
・天徳目録
・平成12年
(1.4M×3
・東隣には
充実した

①古代出雲は先進国

(国⇒地方国家⇒地域の集団)

1. 大陸文化の窓口(新羅他)
2. 神話の国(スサノオ、大国主)
 - ・古事記神話の1／3が出雲
 - ・出雲の神様スサノオは新羅の王族?
3. 最先端技術国(砂鉄生産)
 - ・出雲砂鉄は高品質(最近まで生産)
4. 四隅突出型墳墓(出雲の国力)
 - * ・出雲勢力・文化圏(能登、越まで及ぶ)

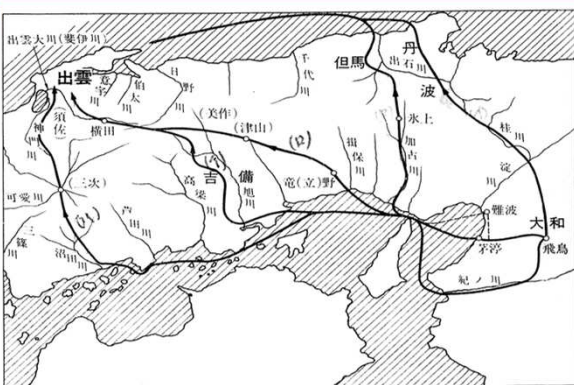
② 出雲の変遷

- * 1. (1～6)世紀;
 * 出雲は東・西別豪族支配
 * 西部(杵築国)⇒ 東部(意宇国)
- * 2. (3～4)世紀;出雲特有の古墳
 * 四隅突出型墳墓
- * 3. (5世紀～);吉備氏の進出
- * 4. (6世紀);意宇王国が出雲統一
- * 5. (6世紀～);蘇我氏の進出
- * 6. (7C末);大和律令制下(前方後円墳)

③ 出雲古代史

年 代	西部(古事記・日本書紀)	東部(出雲風土記)
1世紀	原出雲国家	
3世紀	荒神谷遺跡? 吉備氏の進出	出雲(意宇)王国(4～6)世紀 出雲特有四隅突出型方墳
4世紀半	神原神社古墳	造山1号古墳
5世紀初	崇神記(神宝)	大庭鶏塚古墳
5世紀末	意宇王支配 (吉備衰退)	熊野神、神魂神、国引神話 祭祀権の統合(語部の原形)
6世紀末	物部氏の神宝検校 蘇我氏の神門川侵入	山代二子塚古墳
6世紀末	西部・東部統合	
7世紀初	ヤマトの律令制浸透(部民・屯倉) 意宇王→ 出雲国造に任命(出雲国造神賀詞)	
8世紀初	国造忌部宿禰の子首の着任	

⑤ 古代ルート(出雲～大和)



(2) 出雲神話(記紀と風土記)

(記紀)古事記・日本書紀

- * 1. スサノオ神話(八俣大蛇他)
- * 2. 大国主神話(因幡の素戔)
- * 3. 出雲国譲り神話(出雲大社)
- * 4. 壬申の乱で天武に味方
- * 5. 出雲教を全国に拡大

(出雲風土記)

- 1. 出雲風土記と記紀は全く異なる
- 2. 風土記作成は733年頃
- 3. 神宅臣全太理・出雲臣広嶋作
- 4. 国引き神話(意宇の社)
 - ・出雲地名の由来
 - ・周辺島:新羅・能登・越を国引
 - ・カミズビ神、熊野神、降臨神話



① 出雲の神社

H25.2.25

□出雲の代表的神社

神社名	祭神	様式	備考
出雲大社(杵築神社)	スサノ	大社造	雲太、和ニ、京三
揖屋神社	イサナギ		
神魂神社	イサナミ、イサナギ	大社造	
熊野神社	クシメス	大社造	出雲一宮
			世継式(神火神水)
佐田神社	サタ大神	大社*3棟	出雲二宮
須我神社 大東町	スサノ、イナタヒメ	大社造	日本最初の宮殿、和歌
須佐神社	スサノ、イナタヒメ	大社造	須佐の男(スサノ)
能義神社	天穗日	大社女造	
八重垣神社	スサノ、クシナダ姫		
日野御崎神社 上宮	スサノ	権現造り	和布神事
下宮	アマテラス		(ワカ)
美保神社	美保津姫	大社*2棟	コシロシ系エビス3000社

[2]出雲めぐり



(2)探索地点



2. 仲仙寺古墳

(1-2) 仲仙寺古墳



(仲仙寺古墳)
・四隅突出古墳:古墳時代前期
4世紀初、出雲独特の四隅突出古墳

(造山古墳)
・隣接する造山古墳は大陸影響の方墳と
出雲独特の前方方墳(6C末)とが混在

7. 玉造資料館

(2-1) 出雲玉造資料館



(玉造資料館)

早朝に訪問したが団体の予約があり、我が国、唯一の玉造り資料館を見学。
出雲は国内でも有数の玉の生産地で花仙山周辺に多数の玉造遺跡がある
古墳時代から平安時代に至る工房跡があり玉は律令時代儀式の道具として使われ忌部氏と関係が深かったようです

8. 熊野大社

(2-2) 熊野大社(出雲一宮)



(出雲熊野大社)

創建：斉明天皇5年(659)に造営命
主祭神：**クミカヌシ神**(別称**スサノオ命**、**イサナギ**の愛児カグロノ命)、**農耕・豊饒の神**
神殿：大社造り、本殿(男造り)、拝殿、右(稲田姫)と左(イサナギ)神社

(メモ)

- ・鏡火殿(サンカデン)の**神火神水式**で国司が神饌を食べ永遠の命を得る世継式
- ・出雲・熊野とは聖地を表わす(神=熊=雲)スサノオ命は八俣大蛇を退治した後、熊成宮に、熊成宮=元宮ケ成として**熊野大社**は杵築大社(出雲大社)より**神階が上位**

9. 須我神社

(2-3) 須我神社



(須我神社)

創建：スサノオが八俣大蛇退治後に建立
主祭神：スサノオ、イナダヒメ、ヤシマミコ
神殿：本殿2間四方、大社造りで
(メモ) 出雲大社と同じ
・大蛇退治後にイナダヒメと共にこの地に来、「気分がすすがしくなった」と言って日本初の宮殿を建て日本初の和歌を詠じた所
・「八雲立つ、出雲八重垣、妻籠みに、八重垣つくる、その八重垣を」
・スサノオの終焉の地でもある

10. 大蛇公園

(2-4) 三刀屋おろち公園



(三刀屋・大蛇公園)

- ・三刀屋で斐伊川は上流2つの川が合流、船交通の要所であり昔から栄えていた
- ・**八俣大蛇退治の場所**に特定された所は無く斐伊川上流の多数地点と解釈
- ・従って、この中流域に八俣大蛇公園が設置されているが場所的には看板も見えにくく探すのは大変である

11. たたら館

(2-5) 菅谷たたら館(菅谷高殿)



(菅谷高殿)

- ・**鋼のたたら生産**について、施設館員の詳細な説明を聞くことができた。農作業に支障のない**冬場、全工程を4日サイクル**で(一回約2トン)熱環境で粗鋼生産をする
- ・出雲は良質の鉄分を多く含む砂岩を産出し最近まで鉄業生産されていた
- ・弥生時代後半に**製鋼技術が大陸**から伝わり鉄生産特に刀剣等の鋼として**出雲砂鉄は良質で有名**
- ・製鋼には、砂鉄、木材、水、風等の資源と自然の条件が全て合致した場所として出雲は太古よりたたら**の最適地**であった

13. 出雲大社

(2-7-1) 出雲大社



(出雲大社:旧杵築大社)

- 創建 : 神代、**明治4年出雲大社**に改名
- 主祭神: 大国主(オオナムチ)、**注連縄13m**、
- 神殿: **大社造(男造)**、右回り神座、2間四方) 上古(32丈96m)平安(16丈)現在(8丈24m)
- 神殿の高さ順は(雲太、和二、京三)と呼ぶ
- 神紋 : 二重亀甲剣花角紋
- ・出雲は国ツ神の総代で**10月は神在月**
- ・天穗日命が祭主で縁結び、福の神
- ・**天穗日命の御子アノハナトリが杵築に降臨**
- ・オオナムチの国造偉業を讃えがムスビが造宮
- ・大国主は国譲りで天宮と同じ宮殿を要求

16. 稲佐の浜

(2-9) 稲佐の浜



(左写真) 稲佐の浜

- ・アマテラスの使者タケミカヅチが稲佐の浜でオオナムチに**国譲り**を迫ったとの伝承

20. 大山

(3-3) 境港と大山



(境港と大山)

- ・**風土記国引き神話の東部の支柱**と記載された**大山**
- ・NHK朝ドラで評判の水木しげるの出身地・境港は漁港として**全国的に有名**であるが、今年はゲゲゲの鬼太郎祭で人口2万弱の都市が半年で200万人近い観光客で賑わっている。

21. 佐田神社

(3-4) 佐太神社(出雲二の宮)



(佐太神社)

主祭神: 佐太大神(猿田彦は方便か?)
北殿(アマテラス)、南殿(スサノオ)は逆大社造
神殿 : 大社造りの三殿並列式(本殿3社)

- ・神奈備山は朝日山、佐太とは岬の意味
- ・**カミスビの御子キサガイ**が加賀藩戸で佐太大神を誕生したと言う(島根半島の租神)
- ・祢宜の話では裏山に比婆山から伊予の御霊を取り寄せ埋めてあり、加賀藩戸の伝承は生命の再生(あの世とこの世の再生移動)と関係があるらしく、中世における神仏混合思想の影響

23. 美保関灯台

(3-6) 美保関・燈台



(美保関・灯台)

- ・風土記では能登半島の珠洲から国引きした土地
- ・**美保関は国引き由縁の弓ヶ浜と繋がる**
- ・大国主がスサナヒコを迎えられた所でもある
- ・美保の崎でコシロヌシがオオナムチの国譲りを促す。
- ・関の5本松
(天橋立、城崎温泉、鳥取砂丘、皆生温泉、美保の関)

(おわり)

[D]速報(伊勢神宮)

- * (1) 式年遷宮
- * (2) 探訪先(H25.8.19)

① 式年遷宮

○第62回式年遷宮: H25. 10. 2, 5

○式年遷宮: 定期的遷宮(伊勢=20年、出雲=60年)

○伊勢神宮: 2大正宮、43摂社、24末社、14別宮(125社)

○H25遷宮: 第1回(690)、親神社(H5. 10→H25. 10)

・伊勢神宮: 20年毎更新(H25. 10遷宮)

・出雲大社: 60年毎更新(H25. 5遷宮)

(今年は伊勢と出雲の両遷宮が重なる)

○御祭神: ①(内宮) 皇大神宮...天照大御神(倭姫命)

②(外宮) 豊受大神宮...豊受大御神(食物・穀物)

(2) 探訪神社

探訪日 (H25. 8. 19)

- * ①二見ヶ浦: 創建:垂仁天皇時代
- * (二見興玉神社) 伊勢参りの事前禊(みそぎ)場
- * 夫婦岩は水中興玉磐の鳥居
- * (祭神) 菟田彦大神、宇迦御魂大神
- * 綿津見大神(竜宮社)
- * ②伊勢外宮: 創建478年、天照の食事を司る神
- * (祭神) 豊受大神
- * ③伊勢内宮: 創建:垂仁26年、皇室の祖神
- * (祭神) 天照大神
- *

①二見ヶ浦

(二見興玉神社)

(夫婦岩)



②新外宮模型(豊受大神宮)

遷宮館に展示



③内宮(皇大神宮:天照大神)

(遷宮直前の新外宮)

(新内宮模型)



④現内宮入口



⑤鳥居笠木(五角形)



おわり

*